

## 和歌山大学システム工学部環境システム学科が田舎暮らしのシステム構築を支援

### < 和歌山県 >

市町村・集落の名称	紀美野町
協働の相手（企業や大学等）の名称	和歌山大学システム工学部環境システム学科
仲介者・コーディネーターの名称	きみの定住を支援する会 みさと天文台友の会 和歌山県
協働のポイント	和歌山大学システム工学部環境システム学科と協働で紀美野町における居住学、住居デザイン、インテリアデザイン、地域文化論、人間関係論等を考えた田舎暮らしの支援を提唱する。産・官・学・地域と共に受入を円滑に進められる総合的プログラムを作る。 健康で長生きできる楽しい田舎暮らしとなるよう定住者健康推進実践も取り入れる。
協働のきっかけ・経緯	定住の受入体制を充実していくには、「空き家情報システム」の構築が必要であり、同時に受入側の意識の改革「地域情報交流のシステム」も必要と考え、各種研究や情報分野で全国でも名高い成果を上げているみさと天文台グループ「みさと天文台友の会」、地域の建築分野に詳しい「和歌山大学システム工学部環境システム学科」、移住・交流事業を推進している「和歌山県」及び「きみの定住を支援する会」と協働し、移住交流事業を推進し、定住支援を行うことになる。
取組の具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定住者と住民との友好的人間関係の確立</li> <li>・ 定住のための空き家調査・測量・修繕マニュアルづくりと研修</li> <li>・ 空き家紹介総合システムと参考事例の作成</li> <li>・ 定住のための技術指導と地域交流</li> </ul>
農村地域への効果	高齢化が進む中で、地域の文化や伝統が引き継がれ、農村としての維持が図れ、農地の活用にもつながる。
都市部の主体（企業や大学等）への効果	過疎地域の現状理解と把握、対策について関心が高まり今後の方針の打ち出しが可能となる。
仲介者等の役割	きみの定住の会、みさと天文台友の会、和歌山県とうまく連携ができるようになる。
今後の課題	今後10年間の動向を見つめていくことの重大さ、小地域でワークショップを通し、受入側の整備を行うことが必要。
関連事業（国・都道府県等）	平成20年度移住・交流推進事業 平成20年度移住・交流受入システム支援事業